

ご利用になる前に必ずお読みください

このPDFファイルの内容についてのご質問・お問い合わせは株式会社アスキー・メディアワークスでは一切お受けできません。ご自身の責任においてご利用ください。



この作品は、クリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスの下でライセンスされています。この使用許諾条件を見るには、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/>をチェックするか、クリエイティブ・コモンズに郵便にてお問い合わせください。住所は：171 Second Street, Suite 300, San Francisco, California 94105, USA です。

このファイルをクリエイティブ・コモンズの表示-非営利-継承 2.1 日本ライセンスに基づいて利用する際には、下記クレジットを必ず作品や配布物に表示する必要があります。

クレジット：

- 文/佐藤律子、あわしろいくや
- 写真/岡田清孝
- デザイン/シオズミタロウ
- 初出/株式会社アスキー・メディアワークス「Ubuntu Magazine Japan vol.02」(<http://ubuntu.asciimw.jp/>) 2009年11月30日発行



サトリツ

第2回 あまりにアップデートが簡単すぎたのでPAEにしてみた

あまりに便利すぎてdropboxのない仕事環境なんてもう考えられない...と思ってたらUbuntu Oneがサービスイン！ お布施と思ってdropboxから乗り換えるじゃーんと思ったものの、悩めます。だって、たまにアクセスできないんだもん...。頑張れ、中の人!!

SSDが全速力でディスクフルになったよ!

「今週の金曜日は火曜日ということにした」とか言ってる締め切りブツブツだったから、この歳で上司にカンカンに怒られたよ。てへ。

さて、そんな締切前の修羅場でUbuntuをフツとばしました!! 「backup」の検証をしていたのをすっかり忘れ...。で、「/var/backup」がパンパンに肥大化したらしいです。もちろん警告は出たんですが、止めようとしても間に合わない。SSDすげー。みなさんもバックアップの設定には注意してください。

さて、メモリー8GBを積んでいるdv7ですが、前回確かめてみたら、2.9GBしか認識されていませんでした。半分も使っていない...。そこで「linux-generic-pae」を使って8GBを認識させちゃうじゃないか、というのが今回のテーマです。

もちろん、初めは普通のアップグレードをしたんですが、あまりに完璧に終わってしまい、ネタがない。

ということ、PAE。PAEカーネル導入の方法は、今回の特集で取り上げたとおりです。本当に簡単。極めて平和。

コアラのデスマーチなのか!!

しかし、インストール前に情報も集めず、丸腰でPAEに向かっているって、再起動したら、真っ黒な画面に狂気の点滅速度でプロンプトが...まあ、「DKMS」だけは読めましたけど...で、DKMSをキーワードに調べてみると、Launchpadにも私と同じような症状の人がいました。特に「Bug #454220」のパトリックさんの呪文には助けられました。ありがと。

```
$ sudo apt-get install envyng-core
```

```
「Ctrl」+「Alt」+「F1」キーを押す
```

```
$ sudo /etc/init.d/gdm stop
```

```
$ envyng -t
```

オプションでインストールを選び、終了したら再起動という手順を踏むと、dv7でも

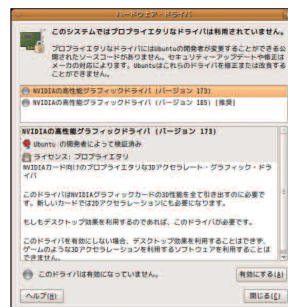
無事7.9GBに

satoritsu-hp	
Ubuntu	
リリース 9.10 (karmic)	
カーネル Linux 2.6.31-14-generic-pae	
GNOME 2.28.1	
ハードウェア	
メモリ:	7.86/11GB
プロセッサ 0:	Intel(R) Core(TM)2 Duo CPU P8600 @ 2.40GHz
プロセッサ 1:	Intel(R) Core(TM)2 Duo CPU P8600 @ 2.40GHz
システムの状態	
利用可能なディスク容量: 384.46/11GB	

■紆余曲折はあったものの8GBもあると仮想マシンをブン回しても快適。

■結局今はバージョン190というドライバを使っています。おそらくまだ開発版のもの。

NVIDIAが一因



PAEカーネルが使えるようになりました。後日フォーラムを見てみると、PAEのカーネルヘッダを入れていなかったのが悪かったみたいです。みなさん、PAEカーネルを入れるときはくれぐれもヘッダも忘れずに!です。

HP Pavilion Notebook PC dv7/CT

●日本HP ●<http://welcome.hp.com/country/jp/ja/>
価格 (春モデルのため販売終了)

SPEC

CPU	Core2 Duo P8600 (2.4GHz)
チップセットモバイル	インテル PM45 Express
メモリ	8GB (4GBx2)
グラフィック	NVIDIA GeForce 9600M GT
ディスプレイ	17.0インチ ワイドTFT WSXGA+ ウルトラクリアビューカラー液晶
HDD容量	1TB ハードディスク (5,400回転)
光学ドライブ	ブルーレイROMドライブ (DVDスーパーマルチ機能搭載)
無線LAN	インテル IEEE802.11a/b/g/n 内蔵
重量	約 3.7 kg

この機種はUbuntuをサポートしていないため、インストールすることにより、メーカーのサポートが受けられなくなることがあります。Ubuntuのインストールは自己責任にて実行してください。



■パワフルなスペックが魅力的だが、実はウェブカメラ、リモコン、ヘッドホン×2など、エンタテインメントPCとしての色も濃い。



あわしろいくや

第2回 4万円台廉価ノートを
9.10にアップグレード

ライトノベル好きでアニメ好き。「乃木坂春香の秘密」の原作は未読だが、アニメは見ています。今期は「とある科学の超電磁砲」もお気に入り。今回も前回のように入念に堅くするつもりだったが、書いてみるとこんな。これからも限界への挑戦を続けるよ！

Ubuntu 9.10
アップグレード

9.04を使い続ける理由も特になく、9.10にアップグレードすることにした。せっかくのロードテストなのでちょっと変わったことをやってみよう。

Alt+Enterからアップグレードに挑戦した。筆者のように回線が遅く、パッケージのダウンロードに時間がかかる場合、寝ている間にAlternate CDをダウンロードしておき、ここからアップグレードするというのは悪くない判断だと思う。方法は簡単で、CD-ROMを挿入するとダイアログが表示されるので、「アップグレード」をクリックするだけである(図A)。

アップグレードの注意点としては、SCIMを継続して使用する場合はscim-anthyが削除されるので、これを再インストールすること、無線LANが使えなくなるぐらいだろうか。無線LANは変なIPアドレスを取得しており、動いているように見えるのでたちが悪い。いずれアップグレードで修正される

ことを期待し、今回は特に修正せず、無線LANは使わないことにする。なお、音はデフォルトで問題なく出力されるようになるので、設定ファイルを新しいものに書き換えて構わない。

Japanese Teamのリポジトリの追加も必要だが、9.10からは自動的にAPTラインのjauntyという文字列をkarmicに書き換え、コメントアウトしてくれるようだ(図B)。というわけで、このコメントアウトを削除してアップグレードすればいい。簡単になったものだ。

DVDを見る

この大画面、このスピーカーを活かす方法として、DVDを見るというのはいらない。というわけで、DVDを見るためのライブラリとプレイヤーをインストールすることにした。前者はおなじみlibdvdcss2、後者はVLCメディアプレイヤーだ。libdvdcssはさきまインストール方法が解説されるが、筆者のお薦めはMedibuntuのサイトからのダウンロードだ。

<http://packages.medibuntu.org/karmic/libdvdcss2.html>
「アーキテクチャ」の下に「i386」をクリックし、パッケージをダウンロードする。それをダブルクリックしてGDebiを起動し、インストールを行う。Medibuntuのリポジトリを追加するのは若干抵抗があるのだから、つらいことだわだと思っ

ていい。DVDは標準の動画プレイヤーであるところのTotemでも再生できなくはないが、いろいろと微妙な点がある。本格的に再生するのであれば、VLCはオススメだ。普通にインストールしてもいいが、せっかくなので追加が簡単になったので、これを使用しない手はない。当然PPAには新しいバージョンが使用できる、と期待できる。メンテナのやる気次第から断言はできない。詳しい追加方法はほかのページに譲るとして、ここではコマンドラインで一発追加してしまおう。

\$ sudo add-apt-repository
ppa:c-korn/vlc
あとはVLCをインストールするだけだ。

\$ sudo apt-get update
\$ sudo apt-get install vlc
「アプリケーション」・「サウンドとビデオ」・「VLC media player」が追加されているので、これを起動し、「メディア」・「ディスクを開く」・「再生する」で再生できるだろう。もちろん事前にディスクを挿入しておく必要がある。

HP ProBook 4515s/CT

●日本HP ●<http://h50146.www5.hp.com/>

SPEC

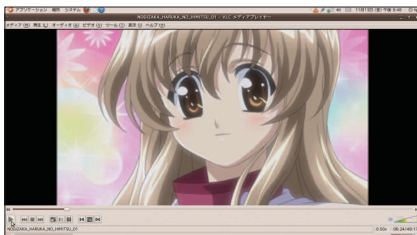
CPU	AMD Sempron SI-42 (2.1GHz)
チップセット	RS780MS+SB700
メモリ	1GB
グラフィック	Radeon HD 3200 (オンボード)
ディスプレイ	15.6インチワイド (1366×768ドット)
HDD	WDC WD1600BEVT-6 (160GB)
DVDドライブ	HL-DT-ST GT20L (LightScribe対応)
有線LAN	Marvell Yukon
無線LAN	Broadcom BCM4312 802.11b/g
サイズ・重量	372×250×32mm、約2.4kg

この機種はUbuntuをサポートしていないため、インストールすることにより、メーカーのサポートが受けられなくなることがあります。Ubuntuのインストールは自己責任にて実行してください。



■8月末まで行われていた10周年記念キャンペーンではなんと3万9900円という破格値で販売されていた。デザインもスタイリッシュ。

C 麗しの乃木坂春香嬢である



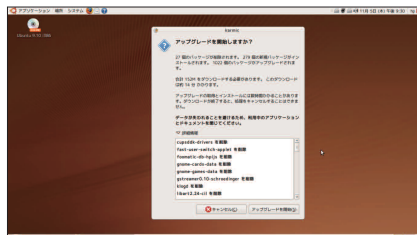
■DVDの解像度は720×480なので、全画面化するとほぼ倍の大きさになる。このぐらいなら充分キレイに再生できる。

B リポジトリを追加



■頭のコメントアウト(#)を取るだけでいい。

A Alternate CDで



■アップデートの開始直前。ドキドキの瞬間である。



E 作成したレーベル



■LightScribeで焼き付けたレーベル面。日本語も化けていないことがわかる。

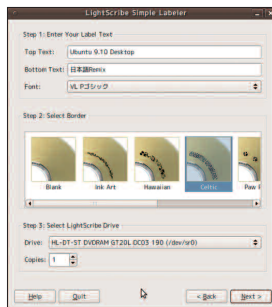
「乃木坂春香の秘密」DVD 1～6巻

各 5985円(税込) 好評発売中!

●発売・販売 ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメント

©五十嵐雄策/アスキー・メディアワークス/「乃木坂春香の秘密」製作委員会

D LightScribe対応ソフト



■Simple Labelerの名の通り、シンプルなことしかできない。

なお、VLCではインターレース解除の設定を手動で行う必要がある。「ビデオ」・「インターレース解除」で複数の選択肢があるが、筆者は「X」にしている。特に比較したわけではないので、これがいいのかはわからない。

最近見た洋画は「フルメタルジャケット」である。誰の影響かはあえて秘すが、秘すことに意味があるとは思えない。ホント戦場は地獄だぜーフウハハハハハハハハ。

……信長(登場人物)的なコメントはこのぐらいにして、実際に再生してみると、なかなか快適である。やはりDVDはこれぐらいの解像度で再生するのがいい。スピーカーもそれほど悪くない。ただ、たまにちょっとだけ音飛びするような症状は見られるが、あまり気にはならなかった。本格的にDVDを再生したいのであれば、もう1ランク上のデュアルコアCPUを搭載したモデルにした方がいいのかもしれない。あと、この液晶ディスプレイではアクションのような動きの激しい映画も厳しいかもしれない。筆者はあまり見ないので具体的は検証できなかった。

……信長(登場人物)的なコメントはこのぐらいにして、実際に再生してみると、なかなか快適である。やはりDVDはこれぐらいの解像度で再生するのがいい。スピーカーもそれほど悪くない。ただ、たまにちょっとだけ音飛びするような症状は見られるが、あまり気にはならなかった。本格的にDVDを再生したいのであれば、もう1ランク上のデュアルコアCPUを搭載したモデルにした方がいいのかもしれない。あと、この液晶ディスプレイではアクションのような動きの激しい映画も厳しいかもしれない。筆者はあまり見ないので具体的は検証できなかった。

今回は我がアスキー・メディアワークスが誇るアニメ、『乃木坂春香の秘密第1巻』を再生してみた(図C)。現在は第2期シリーズが好評放送中である。いや、本当に好評なのかどうかは知らないが、筆者は毎週楽しみにしている。原則として「コクコク」としか発言しない釘宮理恵さんは見物である。

LightScribe® 使ってみる

引き続きDVDネタだが、こちらは焼く方だ。この「ProBook 4515s」のDVDドライブは、「LightScribe」に対応している。LightScribeとは、簡単に説明すれば「LabelFlash」のようにプリンタなしでレーベル面に直接印刷できる技術のことだ。対応メディアはDVD-Rでも1200円程度で、わりと安価である。そして、簡単な機能であればUbuntuでも使えるので、試してみたい手はない。大阪難波の某店でメディア(DVD-R4, 7HLBX10P)を購入し、9・10で挑戦したが、問題なくできた。

やり方は簡単で、まずは「LightScribe System Software」をダウンロードする。

<http://www.lightscribe.com/downloadSection/linux/index.aspx?cid=814>

ありがたいことにDebianパッケージも用意されている。これをダウンロードし、ダブルクリックしてインストールしよう。

次に「LightScribe Simple Labeler」もダウンロードする。

<http://www.lightscribe.com/downloadSection/linux/index.aspx?cid=815>

やはりこれもDebianパッケージがあるので、ダウンロードしてインストールする。起動はやや面倒で、メニューに登録されたりはしない。「Alt」+「F2」キーで「アプ

リケーションの実行」を起動し、
/opt/lightscribeApplications/SimpleLabeler/SimpleLabeler

このように入力する。「Tab」キーで適宜補充すると、手早くできるだろう。あとは「Top Text」と「Bottom Text」を入力し、「Select Border」でボーダーを選択するだけだ(図D)。「Font」で日本語フォントを指定すれば、テキストに日本語を使用しても正しく印刷された。「Next」をクリックしてプレビューし、特に問題がなければメディアをセットして「Burn Label」をクリックするだけだが、当然のことながらメディアは裏表逆にセットする必要がある。あとは終わるまで待つだけだ(図E)。

レーベル面に直接印刷するようなのは、今までは特に興味を抱かなかつたが、いざ使ってみるとこれは便利なものだと感じた。メディアの値段が高くないのもうれしい。HP製のBD/DVDドライブ搭載PCだと対応していることが多いようなので、この機種に限らず対応を確認の上、試してみたいだろう。

HPプリンタの検証

96ページでHPプリンタの検証をしたが、実はこれ、筆者がこのノートを使用して行った。ただHPのノートPCでHPのプリンタと言いたかったのだが、よく考えたらどこでも言っていないことに気がついた。なんてことだ。